

ESG戦略「Kirei Lifestyle Plan」を発表



花王は4月22日、気候変動、高齢社会、資源枯渇、海洋プラスチックごみといった社会的課題がグローバルで深刻化する中、消費者ニーズが高まっている持続可能な暮らしを「Kirei Lifestyle」とし、それを実現するためのESG（環境、社会、ガバナンス）戦略「Kirei Lifestyle Plan」（キレイライフスタイルプラン）を策定、Webサイトにて公開した。

詳細は、同じブック2019」に掲載Webサイトしている。2030年までに100%とするという目標を掲げている。

「Kirei Lifestyle Plan」は、ビジョン、2030年までの3つのコミットメント、重点取り組みテーマである19のアクションで構成されている。

1つ目の柱「快適な暮らしを自分らしく送るために」のアクションの1つである「ユニバーサルプロダクトデザイン」では、ユニバーサルガイドラインに適合する新規製品、改良製品の比率を「ごみゼロ」では、2030年までに10件以上提案するなどとしている。

3つ目の柱「よりすこやかな地球のために」のアクションの1つである「ごみゼロ」では、2030年までに10件以上提案するなどとしている。

30年には革新的なフィルム包装容器を年間3億個普及させるほか、花王の全拠点から排出されるリサイクルされない廃棄物量をゼロにするといった活動を行っている。

同社では、2030年までに達成したい姿を「グローバルで存在感のある会社『Kao』とし、事業の持続的成長と持続的な社会の実現のために、ESG活動をこれまで以上に重視しながら、

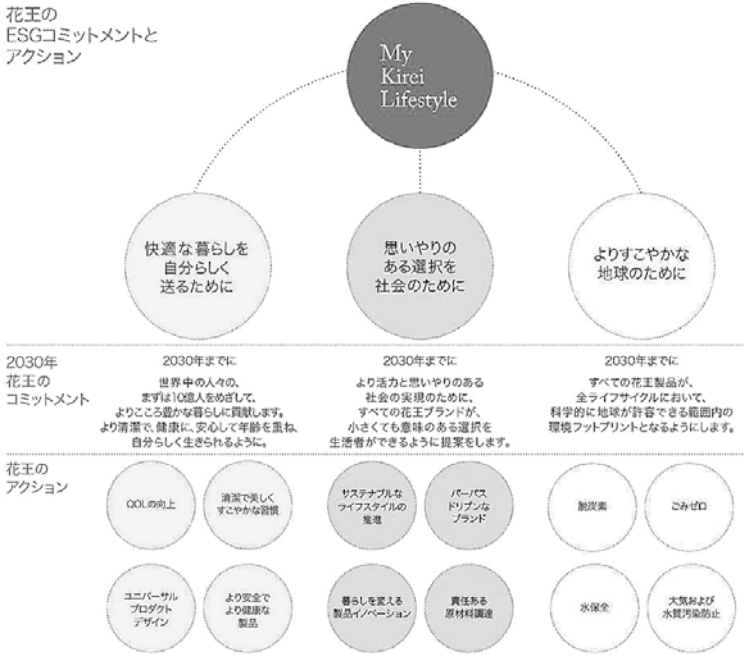
Kirei Lifestyle Plan

花王のESGビジョン

Kirei Lifestyleとは、ここら豊かに暮らすこと。Kirei Lifestyleとは、すべてにおもいやりが満ちていること。自分自身の暮らしが清潔で満ち足りているだけでなく、周りの世界もまたそうであることを大切にすること。Kirei Lifestyleとは、ここら豊かに暮らしが、今日だけではなく、これからもずっとと安心して暮らすこと。日々の暮らしの中で、たとえ小さなことでも、正しい選択をして、自分らしく生きるために。

花王はこうしたKirei Lifestyleが何よりも大切だと考えています。だからこそ、決して妥協をせず、正しい道を進んでいきます。世界中の人々のここら豊かに暮らしのために、私たちは革新と創造に挑み続けます。

花王のESGコミットメントとアクション



勇心酒造 常務取締役(農学博士)

徳山 孝仁 氏



日本のモノづくり文化に対する海外からの高い評価を追い風に、農林水産省が国産農林水産物の特別応援大使「FANバサダー」にロックバンド「打首獄門同好会」を任命して話題となったのはつい先日だが、彼らの代表曲「日本の米は世界一」というタイトル

の想いを160年以上受け継ぎ、ここ約半世紀かけて米に秘められた可能性を次々と引き出している企業が香川県に存在する。

創業1854年の蔵元・勇心酒造は、日本酒づくりに使用する米の総合利用研究を1970年代半ばにスタートし、複数の微生物を

組み合わせで発酵する技術「日本型バイオ」を独自開発し、その技術を用いた機能性成分「ライスパワーエクス」に様々な健康・美容効果を見出している。

これまで開発した「ライスパワーエクス」は36種類にのぼり、そのうち13種に、人間が本来持っている生体機

能を健全化する働きを確認し、さらに、「No.1」「No.2」「No.3」の3種については、医薬部外品の新規効能効果として厚生労働省の認可を取得している。

近年、化粧品業界で「利益ある成長」の実現に取り組んでいる。昨年は、ESG視点での「よきモノづくり」をの「よきモノづくり」を3種を中心とした開発も可能だが、徳山常務は「古代より日本人の主食として馴染み深い米が秘めている可能性はまだ大きな課題」と述べ、米と発酵の力を突き詰めていく考えで、新規有効成分を多くの方に伝えていきたい。

独自の発酵技術「日本型バイオ」で

米に秘められた可能性を広げる

社の姿勢をまとめた「私たちのプラスチック包装容器宣言」を発表。プラスチック包装容器に関する成果としては、最新の詰めかえ用製品「ラクラケオパック」において、植物由来プラスチックを、重量ベースで15%取り入れている。こうした取り組みが評価され、同社は世界の代表的な社会的責任投資(SRI)指標である「Dow Jones Sustainability World Index」に5年連続で選定されている。執行役員 ESG部門統括のDave Muenz(デイブ・マンツ)氏は、「消費者の『Kirei Lifestyle』の実現に向け、外見だけではなく内面も豊かに充実した、ここら豊かな暮らしに貢献していく」とコメントしている。